

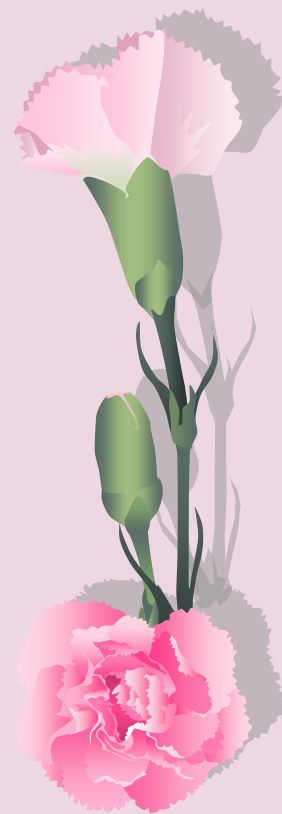
# ヘルパーってどんな仕事？

ヘルパーステーションよしの

馬庭 鈴子

石井 八月

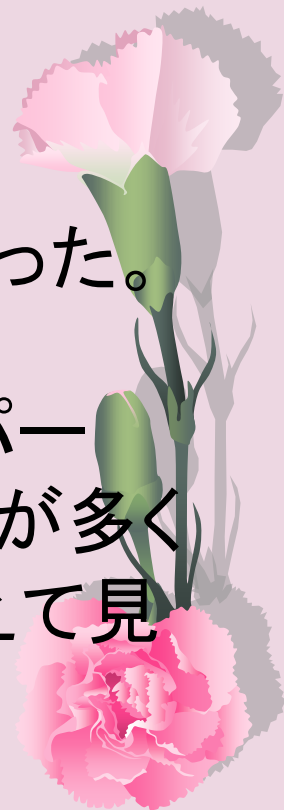
飯森 厚代



# 【取り組み課題】

## 🌸 介護保険制度の変遷とともに 在宅サービスも内容を変えた

1. 高度成長を支えた団塊世代も被保険者
2. 核家族で家庭内や近隣での支え合いが薄くなった。
3. 高齢者の生活を支える一番の担い手はヘルパー  
訪問先での業務内容も専門性を必要とする事が多く  
ヘルパー自身や利用者の認識度を改めて考えて見る事とした。



# 【具体的な取り組み】

## 1. 利用者の生活を確認



（何が必要か？



どの機能が残っているのか？）

## 2. 利用者や家族との信頼関係

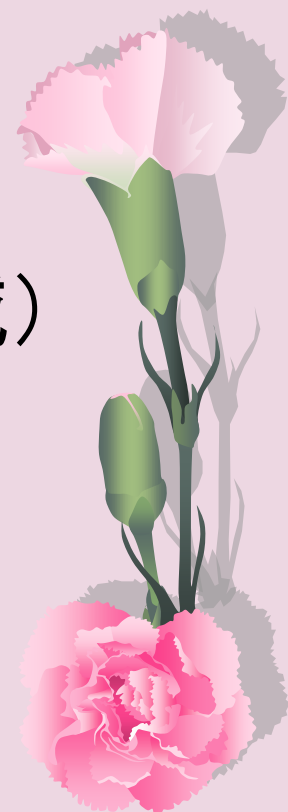


（家族の負担軽減→介護負担の軽減）

## 3. 他業種との人間関係構築

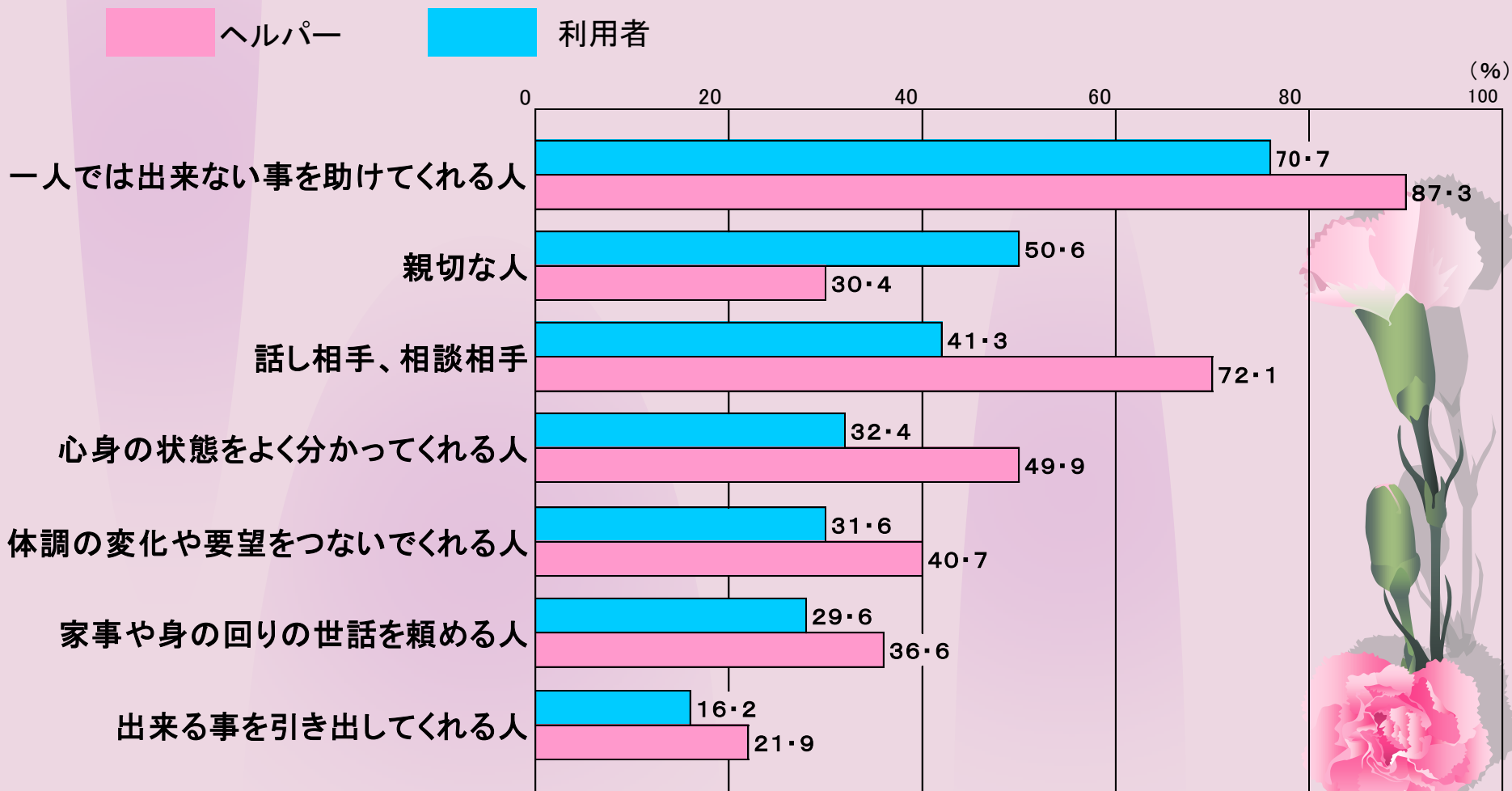


（その前提として無視できない）



# 利用者にとってヘルパーとは

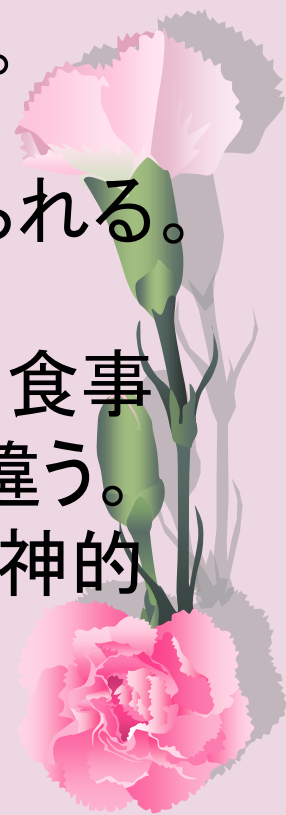
(利用者の回答とヘルパーの認識)



注:【介護保険と訪問介護に関する利用者アンケートより】

# 『ヘルパー業務の難しさ』

1. 在宅の介護サービスはマニュアル通りにならない。
2. 一人一人に合わせるのが難しい。
3. 体調の変化で違った受け取り方をされてしまう。
4. 家事のプロではないが、完璧に近い形を求められる。
5. その中でも掃除や洗濯は何とかなるものだが、食事の場合はそれぞれ家庭の味があり、満足度も違う。食材も冷蔵庫に有るもので作るし、気を使い精神的に悩む事がある。



# 【むすび】

○ 利用者 → ヘルパー（何でもしてくれる人）



○ ヘルパー → 利用者（出来ない事の補助）

○ 「心のケア」を求めている高齢者が多い



🌸 利用者の心の声を捉える「人間力」

🌸 必要な情報を正確に伝える「伝達力」

🌸 関係機関との連携を図る「調整力」

研修会や勉強会を重ね、

意識を高める事でレベルアップ

⇒利用者様の満足度の向上につなげる。

